

フォレストニュース

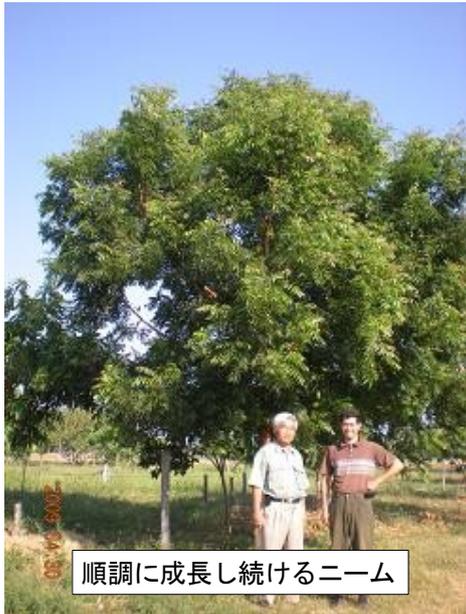
ニーム順調に成長

パンタナール・レダでは、各地にニームの植樹を開始していますが、最初に植えたニームは、2年8ヶ月



ニームのポット苗

経ちました。樹高；6m 幹周り；50cm この付近のニームはこんな調子です。(大滝主任)



順調に成長し続けるニーム

さらに、昨年ボランティア隊が植林したニームの木も、どれも順調に育っています。

とりわけ、パラグアイは世界的にも森林減少率がトップクラスで進んでいます。植林が急がれますが、具体的に実践展開をしているところが少ないのです。

自然散策と環境問題の講座

恒例となったゴールデンウィークを使っ



珍しい動物標本を手にとり



ての高津理事長が5月4日・5日と環境問題を講演、また翌日には自然散策をしました。

最初の日には、パンタナールの自然の状況と温暖化防止策としての植林の重要性について話されました。特に希少動物や植物の種の減少は目に余るものがあります。

5日の早朝には、自然散策の時間、理事長が川崎市民プラザにある木々の解説と植生や森づくりについての話がありました。参加者は、今回の話を聞いて是非南米に行ってみたい、自分でもドングリのポット苗作りに挑戦したいと話していました。

砂漠化の深刻さ！

環境問題の一つとして、砂漠化の問題があります。一年間に四国と九州を合わせたほども砂漠化が進んでいます。その速度は、深刻の度を増しています。アフリカのサハラ砂漠は大昔、緑に覆われていたという事実が調査により確認されています。しかし、長い年月の間に気候が変わり、雨が降らなくなり、乾燥によって砂漠化が進みました。このように、砂漠化の原因は気候条件が変わり、自然の力により砂漠化してしまったということが原因の一つとして数えられます。

一方、人為的な原因で、土地が劣化し、植物が育たなくなり

砂漠の面積が拡大していく所もあります。砂漠化による生産力の低下で食料不足が起こり、民族間の対立の原因にもなっています。干ばつや放牧地の再生能力を超えた家畜の放牧、過度な耕作、薪炭材の過剰な採取、灌漑による農地の塩分濃度の上昇などにより、地球規模で砂漠化が進行しています。

地球の緑を守る会は、着実に植林を続けることによって、地球緑化に貢献しようとしています。

お知らせ

5月は環境セミナーはありません。6月の環境セミナーは21日(日)の午後です。

NPO地球の緑を守る会

発行 高津啓洋

〒158-0097

東京都世田谷区用賀4-34-12

グリーンハウスNo.2-231号

電話: 03-5717-9358 FAX: 03-5717-9359

ホームページ: <http://midori.mond.jp/>

E-mail: midorinokainpo@yahoo.co.jp